

2015年3月期(平成27年3月期)

決算説明会

2015年5月14日



今年3月に東証一部に
上場致しました。

証券コード:7408

株式会社ジャムコ

技術のジャムコは、 士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めていきます。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

- この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。
- この資料における数値は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。したがって、決算短信、有価証券報告書など、表示桁未満を切捨てて作成、表示している資料とは末尾数値が異なる箇所がございますのでご了承ください。
- 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複写することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。

Contents

I 2015年3月期 決算の状況

| | |
|-----------------------------|---|
| グループ各社の状況 | 4 |
| 業績概要(連結) | 5 |
| 2015年3月期 決算のポイント | 6 |
| 貸借対照表(連結) | 7 |
| 減価償却費/設備投資額/試験研究費(連結) | 8 |

II 中期3ヶ年計画

| | |
|-----------------------------|----|
| 中期経営計画の推移 | 10 |
| 経営環境と市場動向 | 11 |
| 新中期経営計画のポイント | 12 |
| 各セグメント 今後の課題と対応 | 13 |
| グループ連結 売上高/経常利益 | 14 |
| 経営指標の推移 | 15 |
| 減価償却費/設備投資額/試験研究費(連結) | 16 |

2015年3月期 決算の状況



| | |
|----------------------------|---|
| グループ各社の状況..... | 4 |
| 業績概要（連結）..... | 5 |
| 2015年3月期決算のポイント..... | 6 |
| 貸借対照表（連結）..... | 7 |
| 減価償却費／設備投資額／試験研究費（連結）..... | 8 |

【単位:百万円】

| | 当 社 | 新潟 ジャムコ | 宮崎 ジャムコ | ジャムコ アメリカ | ジャムコ エアロデザイン エンジニア リング | ジャムコ フィリピン | ジャムコ シンガポール | ジャムコ エアロ マニファク チャリング | 徳島 ジャムコ | ジャムコ エアロテック | その他 | シンガポール ジャムコ サービス |
|-------|--------|------------|------------|------------------|---------------------------------|---------------|----------------|-------------------------------|------------|----------------|-----|------------------------|
| 売上高 | 68,611 | 3,562 | 2,588 | 15,182 | 931 | 507 | 2,115 | 1,028 | 766 | 376 | 120 | 3,138 |
| 営業利益 | 6,189 | 283 | 13 | △ 292 (△ 394) | 142 | 107 | 54 | 40 | 25 | 9 | 4 | 194 |
| 経常利益 | 7,683 | 294 | 9 | 397 (295) | 145 | 107 | 50 | 38 | 25 | 9 | 4 | 194 |
| 当期純利益 | 4,761 | 152 | 0 | 281 (214) | 140 | 97 | 39 | 21 | 14 | 4 | 2 | 183 |

(注1)「その他」はオレンジジャムコ、ジャムコテクニカルセンターの合算値です。

(注2)シンガポールジャムコサービスは持分法適用関連会社です。

(注3)ジャムコアメリカは787関連開発費の償却について当社と同じ基準で会計処理しています。括弧内の数値は「米国基準」における数値です。

【単位:百万円】

| | FY14実績 | FY13実績 | 前期比 | FY14 見直し計画 | 計画比 |
|---------------------|--------|--------|------|---------------|------|
| 売上高 | 76,944 | 64,915 | +19% | 77,000 | △ 0% |
| 営業利益 | 6,784 | 4,289 | +58% | 6,200 | +9% |
| 経常利益 | 7,828 | 4,539 | +72% | 6,400 | +22% |
| 税引前当期純利益 | 8,153 | 4,332 | +88% | 6,500 | +25% |
| 当期純利益 | 4,795 | 2,721 | +76% | 3,900 | +23% |
| 1株当たり 当期純利益(円) | 178.75 | 101.45 | — | 145.38 | — |
| 売上為替レート (円/USドル) | 109.01 | 99.70 | — | 105.00 | — |

(注)見直し計画とは、2014年10月31日の第2四半期決算発表時の業績予想数値です。

| 前期比 | | | | 見直し計画比 | | | |
|-------|------------|------------|-------|--------|------------|---------------|-------|
| | 【単位:百万円】 | | | | 【単位:百万円】 | | |
| | FY14 実績 | FY13 実績 | 差異 | | FY14 実績 | FY14 見直し計画 | 差異 |
| 経常利益 | 7,828 | 4,539 | 3,289 | 経常利益 | 7,828 | 6,400 | 1,428 |
| 売上総利益 | 15,591 | 11,027 | 4,564 | 売上総利益 | 15,591 | 15,200 | 391 |
| 販管費 | 8,807 | 6,738 | 2,069 | 販管費 | 8,807 | 9,000 | △ 193 |
| 営業外損益 | 1,044 | 250 | 794 | 営業外損益 | 1,044 | 200 | 844 |

(注)見直し計画とは、2014年10月31日の第2四半期決算発表時の業績予想数値です。

POINT

● 前期比

- 売上総利益**：売上高増加、円安効果による影響
 機器製造セグメントの受注減少による影響
 工事損失引当金／パーユニット仕掛減損処理の影響
 生産性の向上
 開発費減少による影響(787内装品/シート)
- 販管費**：増産に伴う人員増、ジャムコシンガポール連結子会社化による増加
 試験研究費、保証工事費の増加
- 営業外損益**：FY13が替差益(Net)4億円、FY14が替差益(Net)11.2億円

● 見直し計画比

- 売上総利益**：受注減少等の変動はあったものの円安効果もあり増加
- 販管費**：試験研究費の減少
- 営業外損益**：FY14見直し計画が替差益(Net)3.8億円、
 FY14が替差益(Net)11.2億円

【単位:百万円】

| 科目 | FY14 末 2015年3月31日現在 | FY13 末 2014年3月31日現在 | 増減 |
|-------------|------------------------|------------------------|---------------|
| 〈資産の部〉 | | | |
| 流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | 3,050 | 1,589 | 1,461 |
| ● 受取手形及び売掛金 | 20,677 | 19,663 | 1,014 |
| ● 棚卸資産 | 37,385 | 29,203 | 8,182 |
| その他流動資産 | 7,620 | 4,714 | 2,906 |
| 流動資産合計 | 68,732 | 55,169 | 13,563 |
| 固定資産 | | | |
| 有形固定資産 | 13,693 | 10,881 | 2,812 |
| 無形固定資産 | 1,217 | 1,167 | 50 |
| 投資その他の資産 | 4,279 | 4,431 | △ 152 |
| 固定資産合計 | 19,189 | 16,479 | 2,710 |
| 資産合計 | 87,922 | 71,648 | 16,274 |

【単位:百万円】

| 科目 | FY14 末 2015年3月31日現在 | FY13 末 2014年3月31日現在 | 増減 |
|-----------|------------------------|------------------------|---------------|
| 〈負債の部〉 | | | |
| 流動負債 | | | |
| 支払手形及び買掛金 | 14,103 | 10,779 | 3,324 |
| 短期借入金 | 24,247 | 20,774 | 3,473 |
| その他流動負債 | 14,604 | 11,372 | 3,232 |
| 流動負債合計 | 52,954 | 42,925 | 10,029 |
| 固定負債 | | | |
| 長期借入金 | 3,358 | 2,507 | 851 |
| その他固定負債 | 7,112 | 6,525 | 587 |
| 固定負債合計 | 10,470 | 9,032 | 1,438 |
| 負債合計 | 63,424 | 51,957 | 11,467 |
| 〈純資産の部〉 | | | |
| ● 純資産合計 | 24,498 | 19,691 | 4,807 |
| 負債及び純資産合計 | 87,922 | 71,648 | 16,274 |

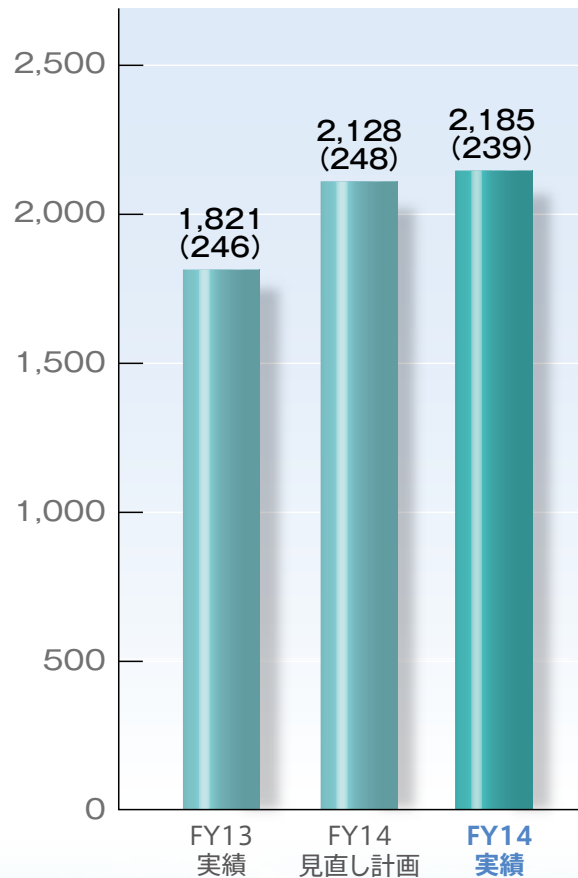
POINT

● 業容拡大に伴い、売掛金、棚卸資産が増加

● 最高益更新にともない純資産が増加

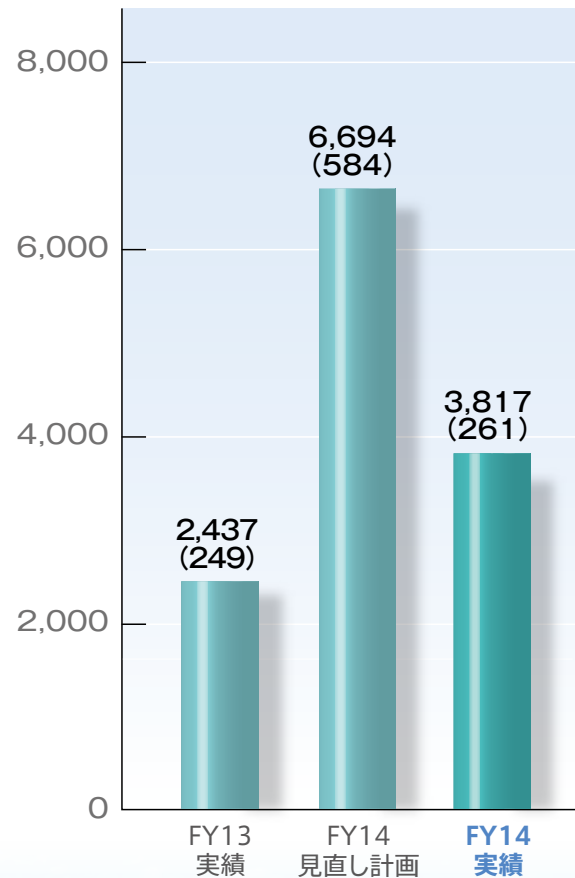
【単位:百万円】

減価償却費(連結)



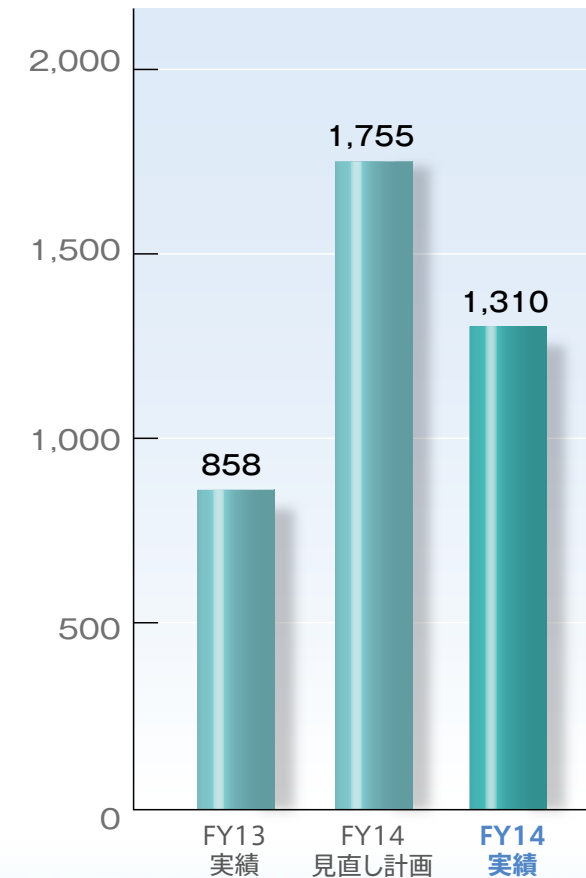
【単位:百万円】

設備投資額(連結)



【単位:百万円】

試験研究費(連結)



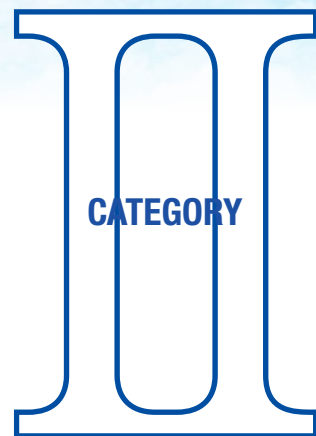
()内はリース資産分

設備投資には()内の全リース物件を含む

(注)見直し計画とは、2014年10月31日の第2四半期決算発表時の業績予想数値です。

中期3ヶ年計画

(2015～2017年度)



| | |
|------------------------------|----|
| 中期経営計画の推移 | 10 |
| 経営環境と市場動向 | 11 |
| 新中期経営計画のポイント | 12 |
| 各セグメント 今後の課題と対応 | 13 |
| グループ連結 売上高／経常利益 | 14 |
| 経営指標の推移 | 15 |
| 減価償却費／設備投資額／試験研究費 (連結) | 16 |

① 第一段階(2012~2014中期経営計画)

- 経常利益率5%の達成を目指す
- 前倒しで2012年度に達成
 - ◎ 売上高515億円、連結純利益17億円

② 第二段階(2013~2015中期経営計画)

- 経常利益率目標を7%に引き上げ
- 2013年度 経常利益率6.99%、史上最高益を15年ぶりに更新
 - ◎ 売上高650億円、連結純利益27億円

③ 第三段階(2014~2016中期経営計画)

- 経常利益率7%以上を恒常的に達成できる体質を目指す
- 2014年度 経常利益率10.2%
 - ◎ 売上高770億円、連結純利益48億円
- 東京証券取引所一部上場

優れた品質・技術

+

相応しい収益力



「強い会社」

- 米国及び中国の景気は穏やかな拡大が続き、欧州はロシア経済とギリシャの先行き不安を抱えながらも堅調に推移しているが、世界経済はテロやウクライナ問題など地政学的リスクもあり先行きは不透明感が残る
- 航空機メーカーは引き続き受注・生産が好調、ボーイング787の納入機数増加、エアバスA350の納入が本格化
- 航空会社は旺盛な航空需要に加えて原油安が追い風となり、総じて好調に推移する見込み
- こうした事業環境において、当社の中期的な売上高は拡大基調にある
 - ・ボーイング787の更なる増産
 - ・ボーイング777フロアパネルの製造開始
 - ・ボーイング777Xラバトリーの製造開始
 - ・シート事業の受注、量産拡大
 - ・エアバスとの取引拡大
 - ・内装品・機器製造・整備セグメント間の連携強化
- 短期的には、777Xへの移行期による777向けギャレーの売り上げが横ばいに。米国経済の不透明感によるドル安円高リスクにも留意

中期ビジョン

- 航空機分野に特化し、内装品事業を基軸に、機器製造、航空機整備の機能を併せ持つオンリーワンの航空機総合企業を目指す

中期経営方針

- 連結売上高1,000億円に向けた成長戦略の実行
- 優れた品質と技術に更に磨きをかけ、革新的製品を投入
- Capacityの増強とCapabilityの強化に向けた投資の実行
- グループ連結経営の強化
- オンリーワンに相応しい収益力を持つ『強い会社』の実現
 - 連結売上高経常利益率: 7%以上、10%を目指す
 - 連結ROA(総資産経常利益率): 7%以上、10%を目指す

内装品セグメント

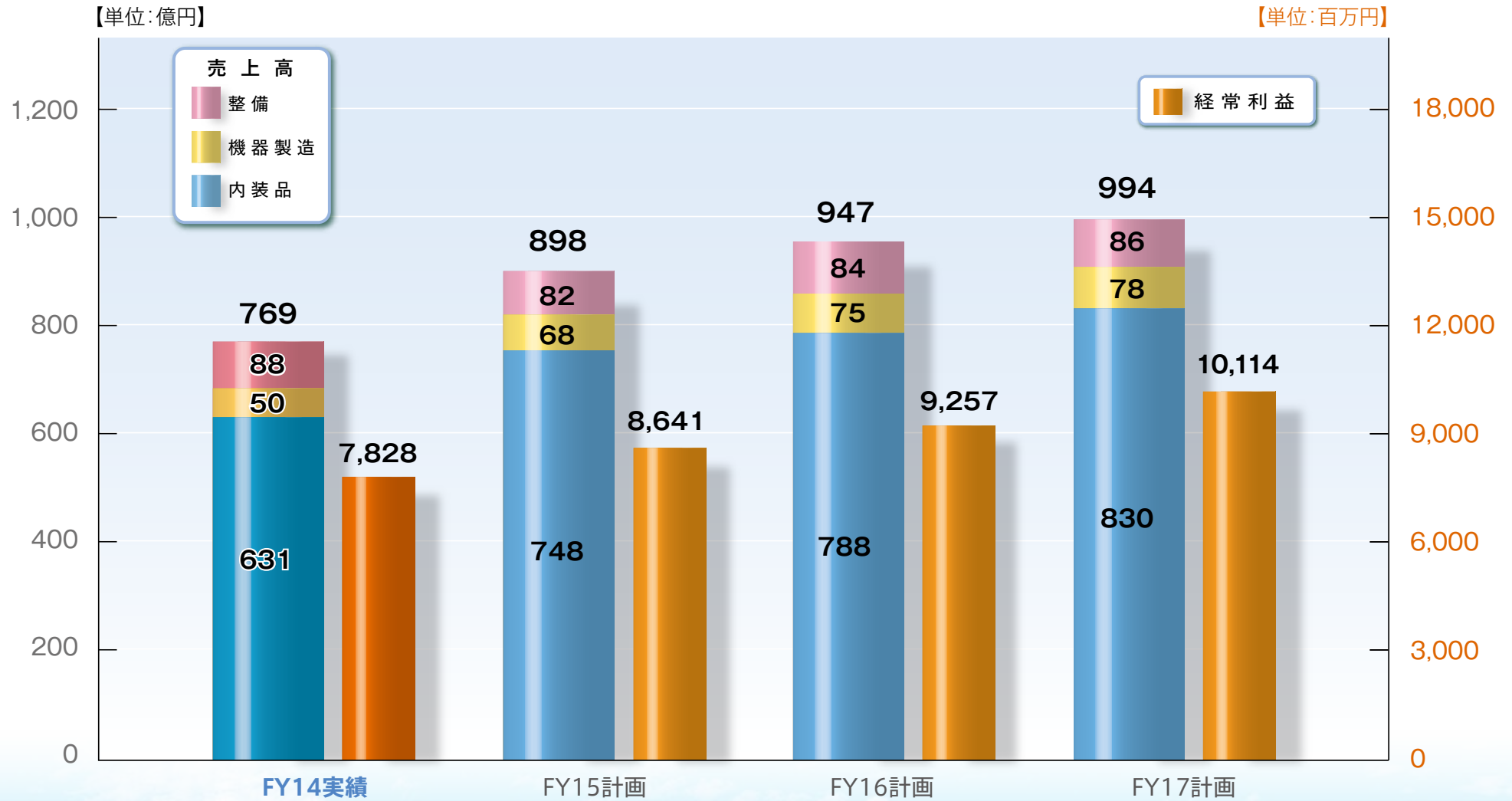
- ① 生産技術の革新を加速し、コスト競争力を強化
- ② サプライチェーンを強化し、品質・コスト・リードタイムを改善
 - ・シート事業を含めた応需能力確保のためのサプライチェーンの整備
 - ・新資材物流施設による部品供給の効率向上
- ③ 革新的な技術と製品により競争力を強化し、世界シェアNO.1を確保
 - ・プロダクトイノベーション室を中心に受注拡大に向けた研究開発の推進

機器製造セグメント

- ① 品質及び生産効率向上を追求し、収益性を向上
 - ・関連企業を含め生産体制を定着させ、事業全体の生産性を向上
- ② 新たな顧客開拓を促進し受注拡大
 - ・ADPの受注拡大
- ③ 新たな開発プロジェクトへの参画を通じた新製品の受注
 - ・CFRP成型技術を内装品製品に展開

整備セグメント

- ① 飛行安全の確保と品質保証体制の強化
 - ・認定事業場の継続的維持と品質の向上
- ② 機体整備の新たなビジネスモデルの構築
- ③ 海外市場への展開やメーカーとの協業
 - ・海外からの装備品整備の受注
 - ・内装品事業のカスタマーサービスにおける連携

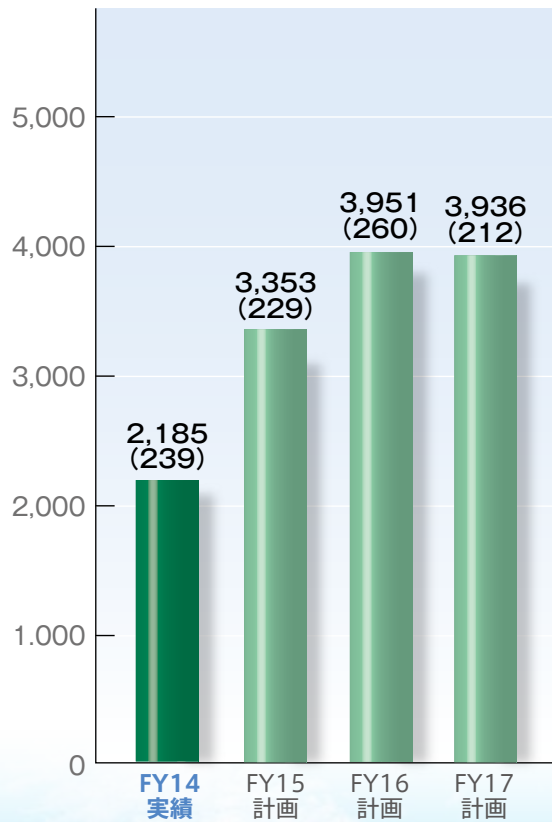


(注) 中期計画の為替レート FY15~FY17 115円/USドル

| | FY11 | FY12 | FY13 | FY14 | FY15 | FY16 | FY17 |
|-------------------------|--------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| ROE (株主資本当期純利益率) | 0.1% | 10.7% | 15.0% | 22.6% | 20.0% | 19.2% | 17.4% |
| ROA (総資産経常利益率) | 1.1% | 5.1% | 6.7% | 9.8% | 9.7% | 9.8% | 10.3% |
| 自己資本比率 | 26.3% | 26.2% | 27.0% | 27.0% | 31.5% | 35.3% | 39.7% |
| 1株当たり配当額 | ¥3 | ¥10 | ¥15 | ¥35 | ¥30 | — | — |
| 配当性向 | 681.8% | 15.7% | 14.8% | 19.6% | 15.1% | — | — |
| 株価 (期末日) | ¥470 | ¥786 | ¥1,925 | ¥3,665 | — | — | — |
| フリーキャッシュフロー (単位：百万円) | 904 | △ 176 | △ 486 | △ 720 | 233 | 2,149 | 3,776 |

【単位:百万円】

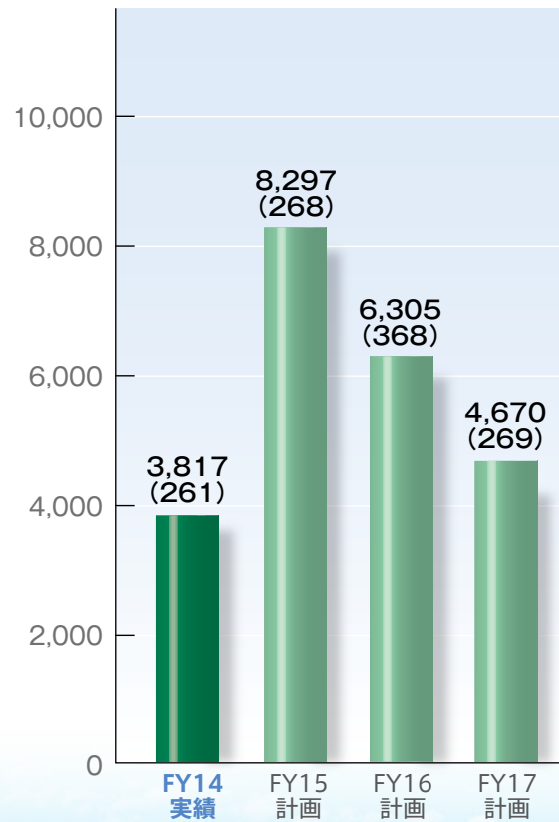
減価償却費(連結)



()内はリース資産分

【単位:百万円】

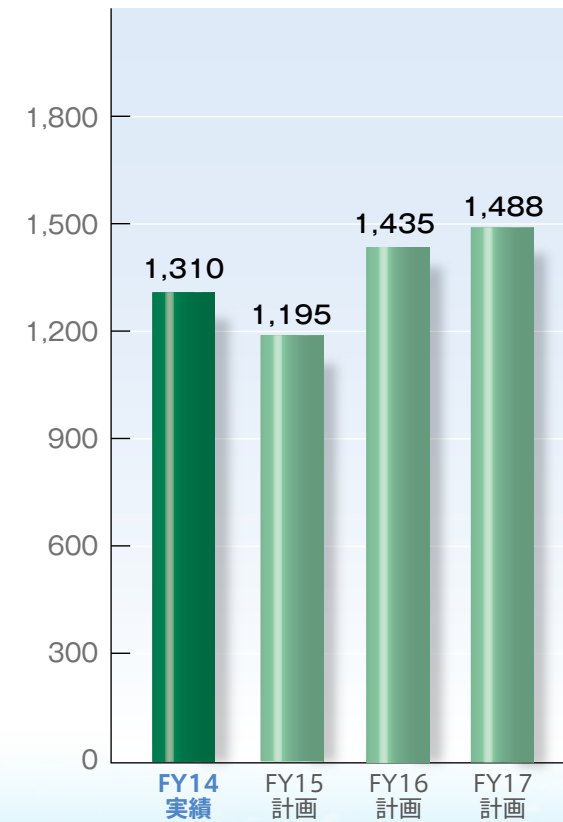
設備投資額(連結)



設備投資には()内の全リース物件を含む

【単位:百万円】

試験研究費(連結)



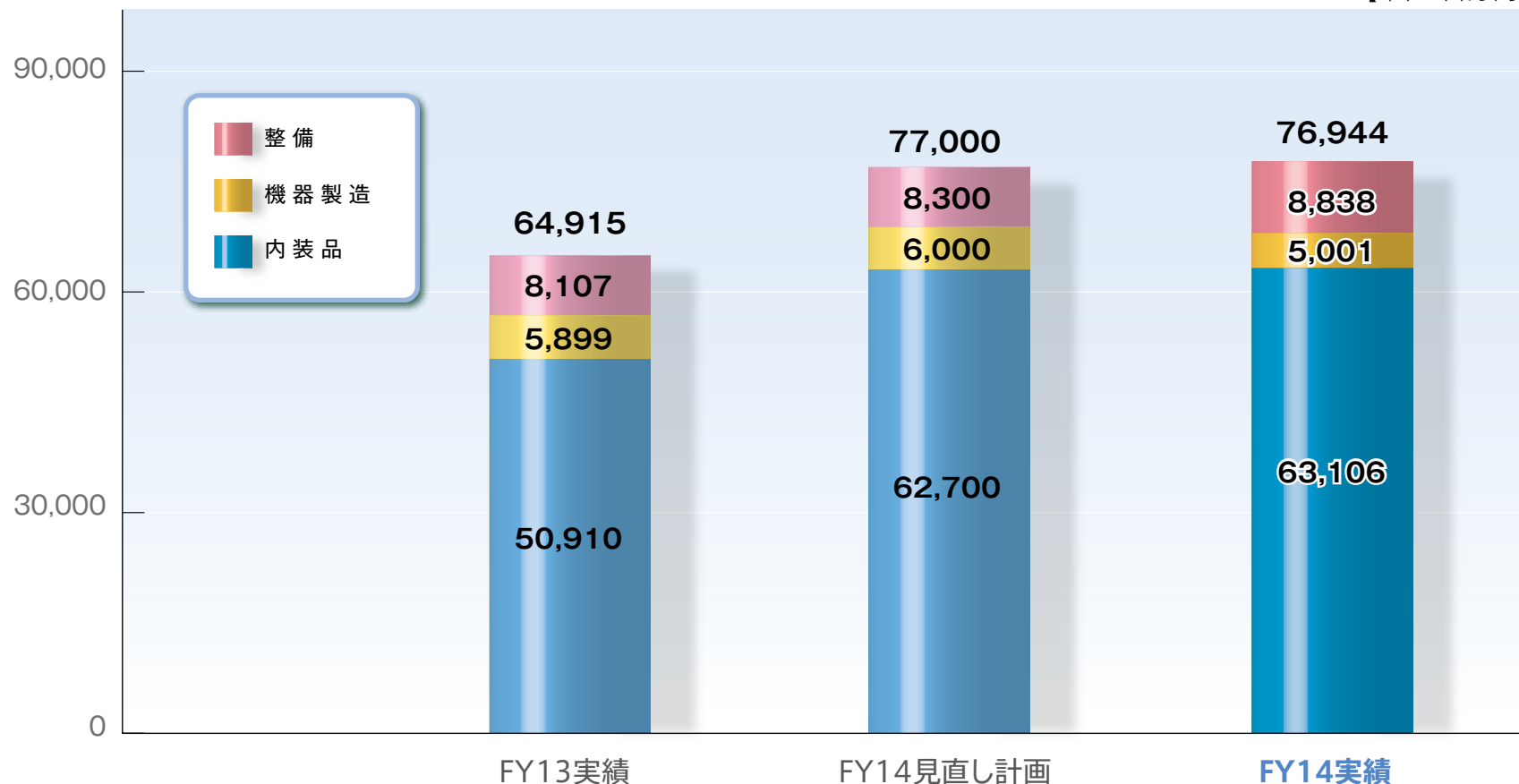


2015年3月期 決算説明会 添付資料

Contents

| | |
|---------------------|----|
| Ⅲ セグメント情報..... | 18 |
| Ⅳ 会社概要 | |
| 企業グループ概要..... | 23 |
| 事業概要..... | 24 |
| Ⅴ 航空機メーカーの動向..... | 30 |
| Ⅵ ジャムコの戦略領域..... | 35 |
| Ⅶ 中長期の市場動向 | |
| 世界の航空旅客予測..... | 36 |
| ジェット機の運航機材構成予測..... | 37 |

【単位:百万円】



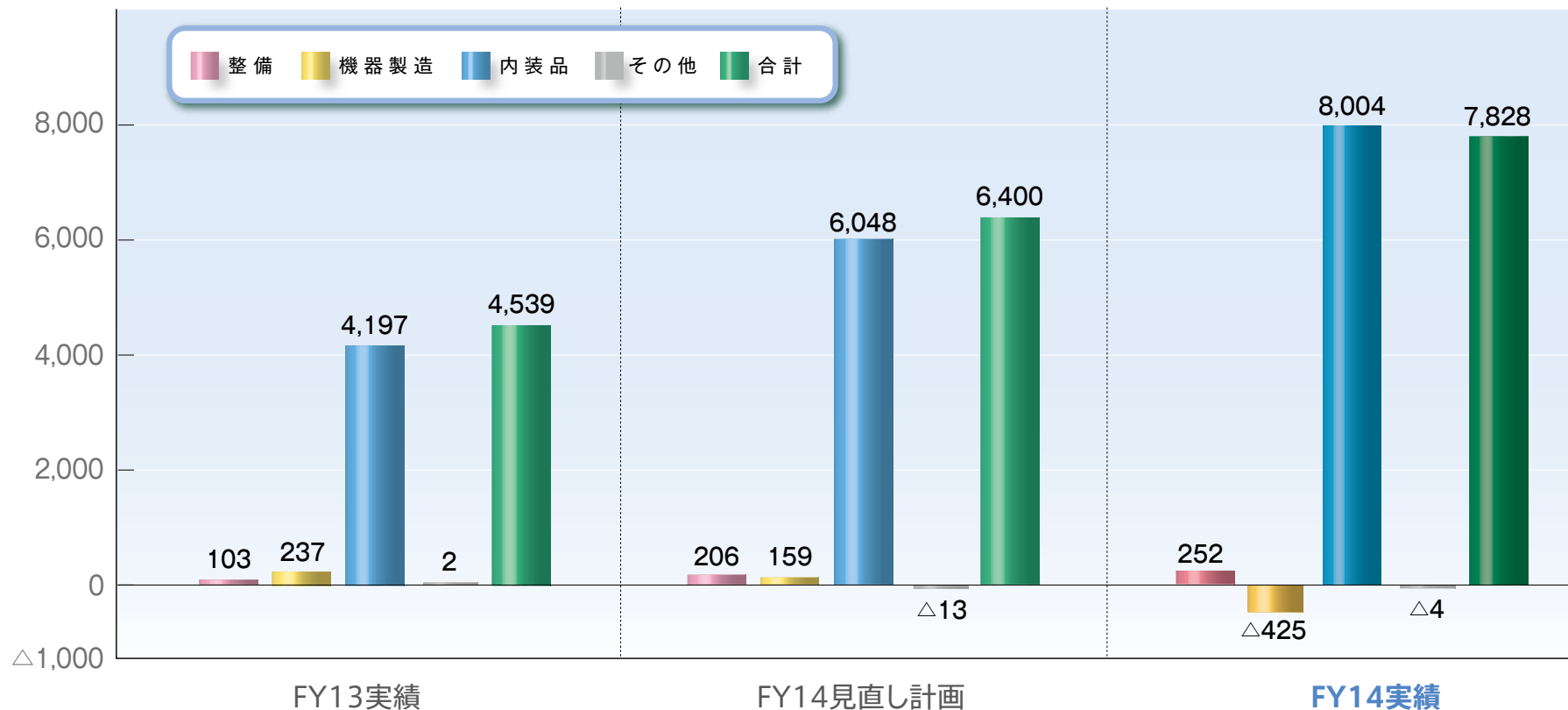
POINT

FY13実績対比

- 内装品はギャラリー、ラバトリー、スペアパーツ等の販売が好調で増加／円安による外貨建て売上高の増加
- 機器製造は顧客先の都合による防衛関連部品と民間エンジン部品の受注不足により減少
- 整備は機体整備の受注が好調で増加

(注)見直し計画とは、2014年10月31日の第2四半期決算発表時の業績予想数値です。

【単位:百万円】



FY13実績対比

- 整備は機体整備の受注状況が堅調で操業度が良化したことにより増加

- 機器製造は防衛関連部品の売上高が大きく減少した影響、新規品の初期コスト増加の影響により減少
- 内装品は売上高の増加、787開発費の償却負担の減少、為替レートが円安に振れたこと等により増加

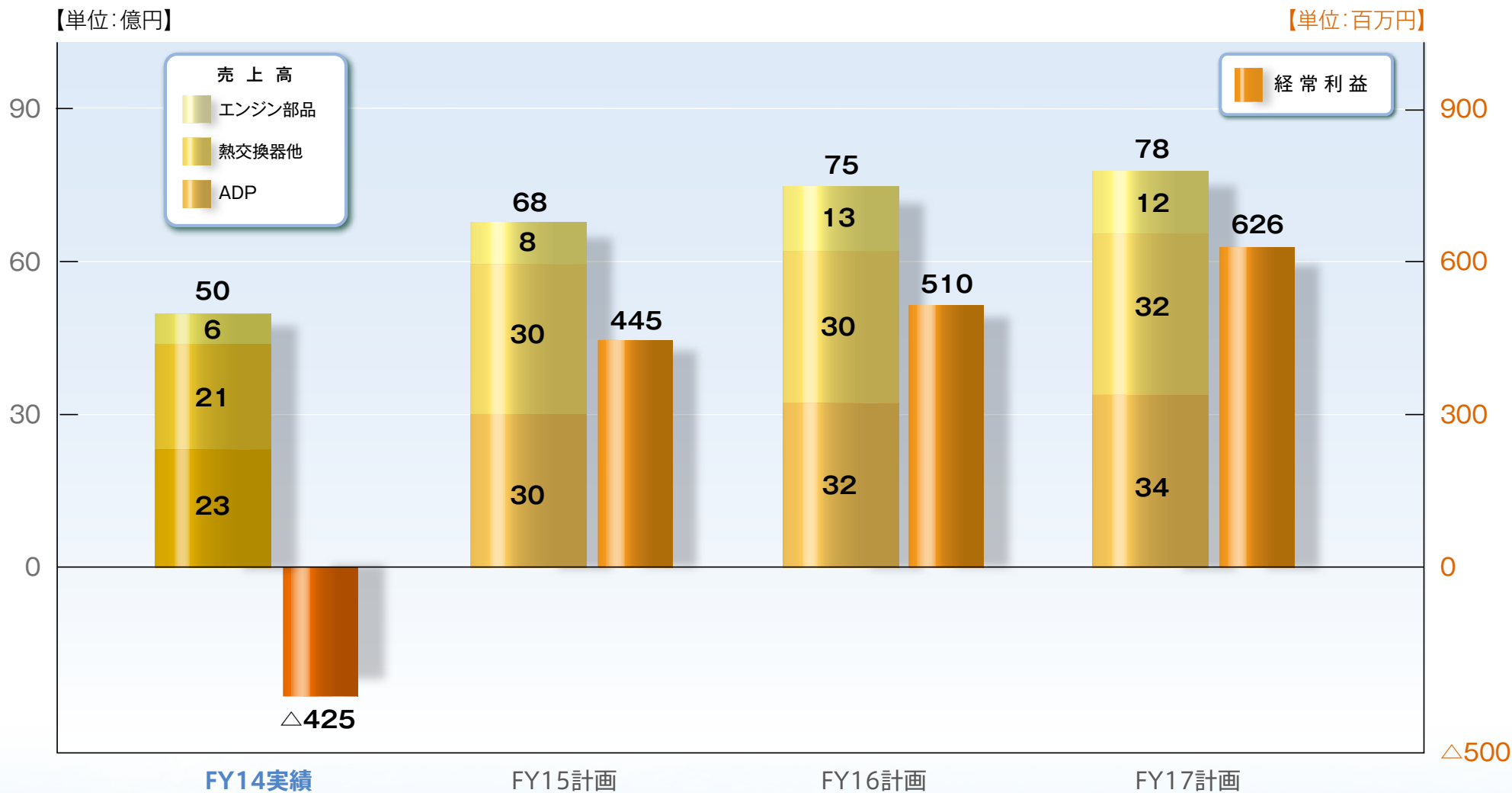
(注)見直し計画とは、2014年10月31日の第2四半期決算発表時の業績予想数値です。

【単位：億円】

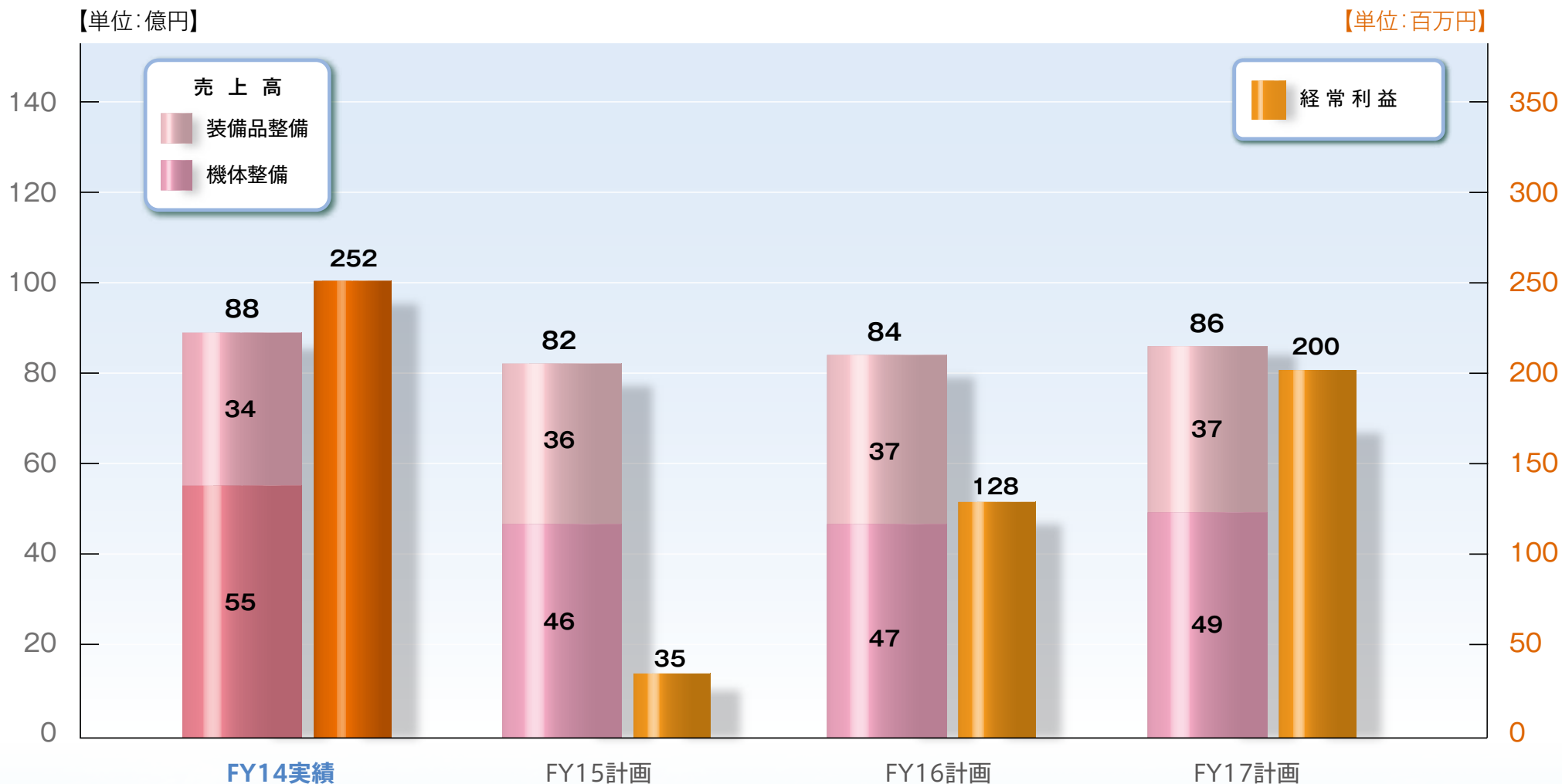
【単位：百万円】



(注) 中期計画の為替レート FY15~17 115円/USドル



(注)中期計画の為替レート FY15~17 115円/USドル



(注) 中期計画の為替レート FY15~FY17 115円/USDドル



■ 航空機内装品カンパニー①

航空機用ラバトリー(化粧室)の製造

- ボーイング747-8・767・777・777X・787向け
ラバトリーを独占供給



航空機用ギャレー(厨房設備)の製造

- ボーイング747-8・777・787・767・737に搭載
- エアバスA380・A330・A340・A320に搭載
- 世界の航空会社約100社へ納入
- 787向けギャレーを独占供給
- エアバスA380向けギャレーの指定業者



航空機用フロアパネル(客室床板)の製造

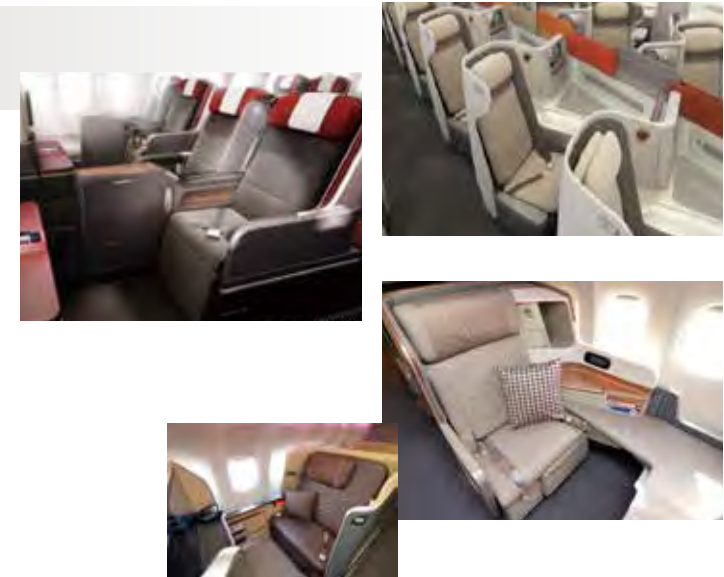
- ボーイング社より777型機向けに単独一括受注



航空機内装品カンパニー②

航空機用シート事業

- エアバス向けA350 ACS (Airbus Contracted Supplier) シート
商品名Journey™ ビジネスクラスシート
- シンガポール航空向けファースト、ビジネスクラスシート
ボーイング777-300ER用ファースト、ビジネスクラスシート
- 新型プレミアムシートDoveTailの顧客獲得を目指す



航空機改修事業

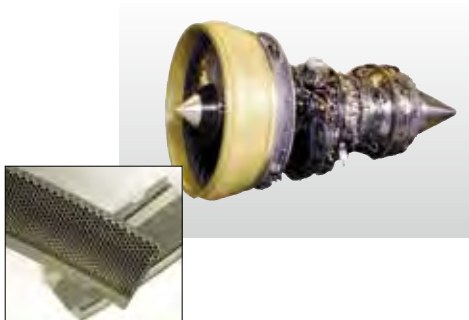
- FAAよりODA認定を取得(ジャムコアアメリカ)
設計から完成まで、FAAに代わって航空機客室改修の耐空証明を実施
- 改修実績
客室内装備品の新規搭載や配置換え、キャビンクルーの休憩室搭載など数多くの改修実績
- EASA Design Organization Approval (DOA)を取得(ジャムコアエアロデザインエンジニアリング)
ジャムコアアメリカ同様、欧州航空安全庁の認定に基づき世界中の機体改修に対応



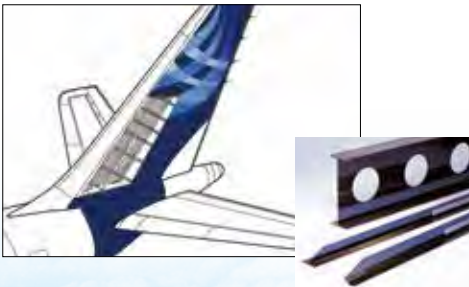
航空機器製造カンパニー



航空機用熱交換器及び
各種航空機搭載機器の製造



ジェットエンジン部品の製造



航空機用炭素繊維構造部材 (ADP) の製造

- エアバスA380用2階床構造部材
- エアバスA350を除くエアバス機の垂直尾翼構造部材

航空機整備カンパニー



防衛省、海上保安庁、国土交通省航空局、 航空大学校、エアラインなどの航空機、 装備品整備事業

- 中型・小型航空機及びヘリコプターの整備・改造
- リージョナル機の整備
- プロペラ、脚、航空電子機器の整備
- 車輪、ブレーキ、救難用ホイス（吊り上げ装置）のオーバーホール
- 大型旅客機客室内装備品の整備
- エマージェンシー フロート/ エバキュエーション スライドの整備





(注) 出資比率はグループ出資比率

● ボーイング社の受注残機数

狭胴機

4,299 機 (前年同期 3,680機)

広胴機

1,490 機 (前年同期 1,548機)

● エアバス社の受注残機数

狭胴機

5,129 機 (前年同期 4,298機)

広胴機

1,257 機 (前年同期 1,261機)

出所：Speed News Home Page「COMMERCIAL AIRCRAFT PROGRAM STATUS REPORT:DECEMBER 31,2014」
(2014年12月末時点)

787の生産状況

- 2015年3月末日現在、258機の引き渡しを完了
- 2015年3月末日現在、受注残機数は847機

777Xの開発状況

- 2017年生産開始、2020年に初号機引き渡し予定
- 2015年3月末日現在、受注残機数は286機

737MAXの開発状況

- 2017年に初号機引き渡し予定
- 2015年3月末日現在、受注残機数は2,715機

A350XWBの生産状況

- 2015年3月末日現在、2機の引き渡しを完了
- 2015年3月末日現在、受注残機数は778機

A330neoの開発状況

- 2017年10月－12月に初号機引き渡し予定
- 2015年3月末日現在、受注残機数は145機

A320neoの開発状況

- 2015年10月－12月に初号機引き渡し予定
- 2015年3月末日現在、受注残機数は2,847機

A380の生産状況

- 2015年3月末日現在、156機の引き渡しを完了
- 2015年3月末日現在、受注残機数は161機

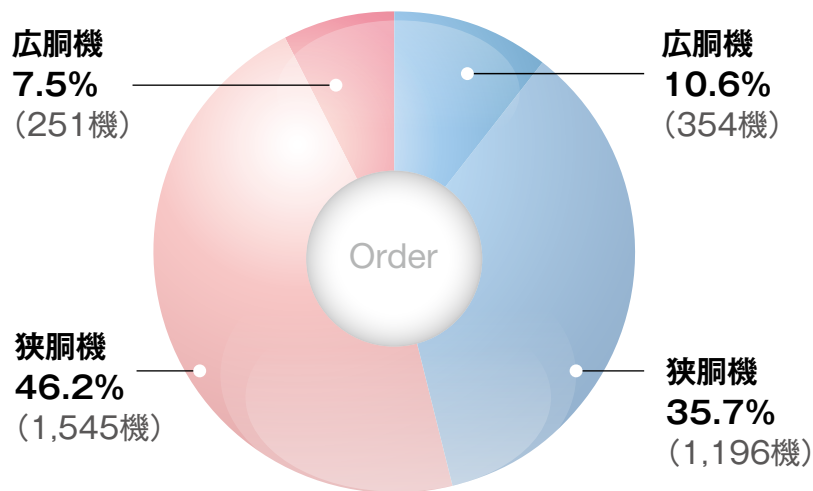
(注) 受注データについてはボーイング社、エアバス社HPより

(2014年1月～12月累計)

受注状況

● エアバス社
53.7%
(1,796機)

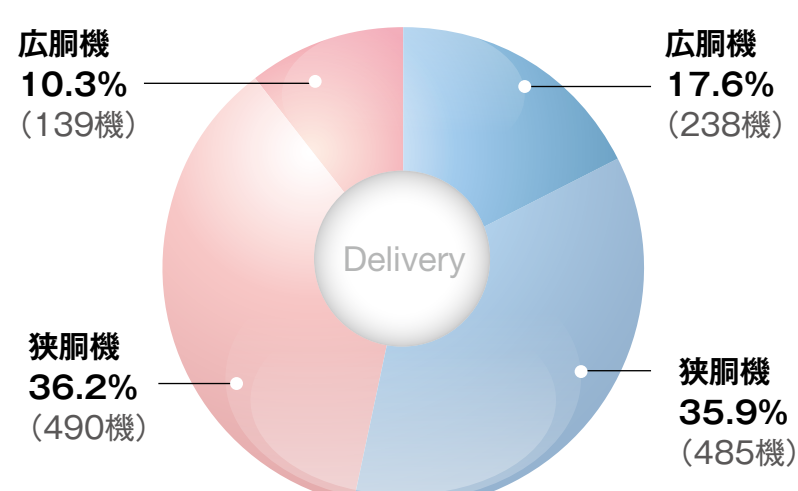
● ボーイング社
46.3%
(1,550機)



納入状況

● エアバス社
46.5%
(629機)

● ボーイング社
53.5%
(723機)



出所：Speed News Home Page「COMMERCIAL AIRCRAFT PROGRAM STATUS REPORT:DECEMBER 31,2014」

(2014年1月～12月累計)

| | 受 注 | 納 入 | 受 注 残 |
|------------|-------|-----|-------|
| ボーイング合計 | 1,550 | 723 | 5,789 |
| 747 | 2 | 19 | 36 |
| 777 | 283 | 99 | 564 |
| 787 | 65 | 114 | 843 |
| 767 | 4 | 6 | 47 |
| 737 | 1,196 | 485 | 4,299 |

(注) ■色の機種は広胴機（ワイドボディ機）を示す。

出所：Speed News Home Page「COMMERCIAL AIRCRAFT PROGRAM STATUS REPORT:DECEMBER 31,2014」

(2014年1月～12月累計)

| | 受 注 | 納 入 | 受 注 残 |
|-------------|-------|-----|-------|
| エアバス合計 | 1,796 | 629 | 6,386 |
| A380 | 20 | 30 | 165 |
| A350 | 57 | 1 | 779 |
| A330 | 174 | 108 | 313 |
| A321 | 182 | 150 | 552 |
| A320 | 1,334 | 306 | 4,532 |
| A319 | 29 | 34 | 45 |
| A318 | 0 | 0 | 0 |

(注) ■色の機種は広胴機（ワイドボディ機）を示す。

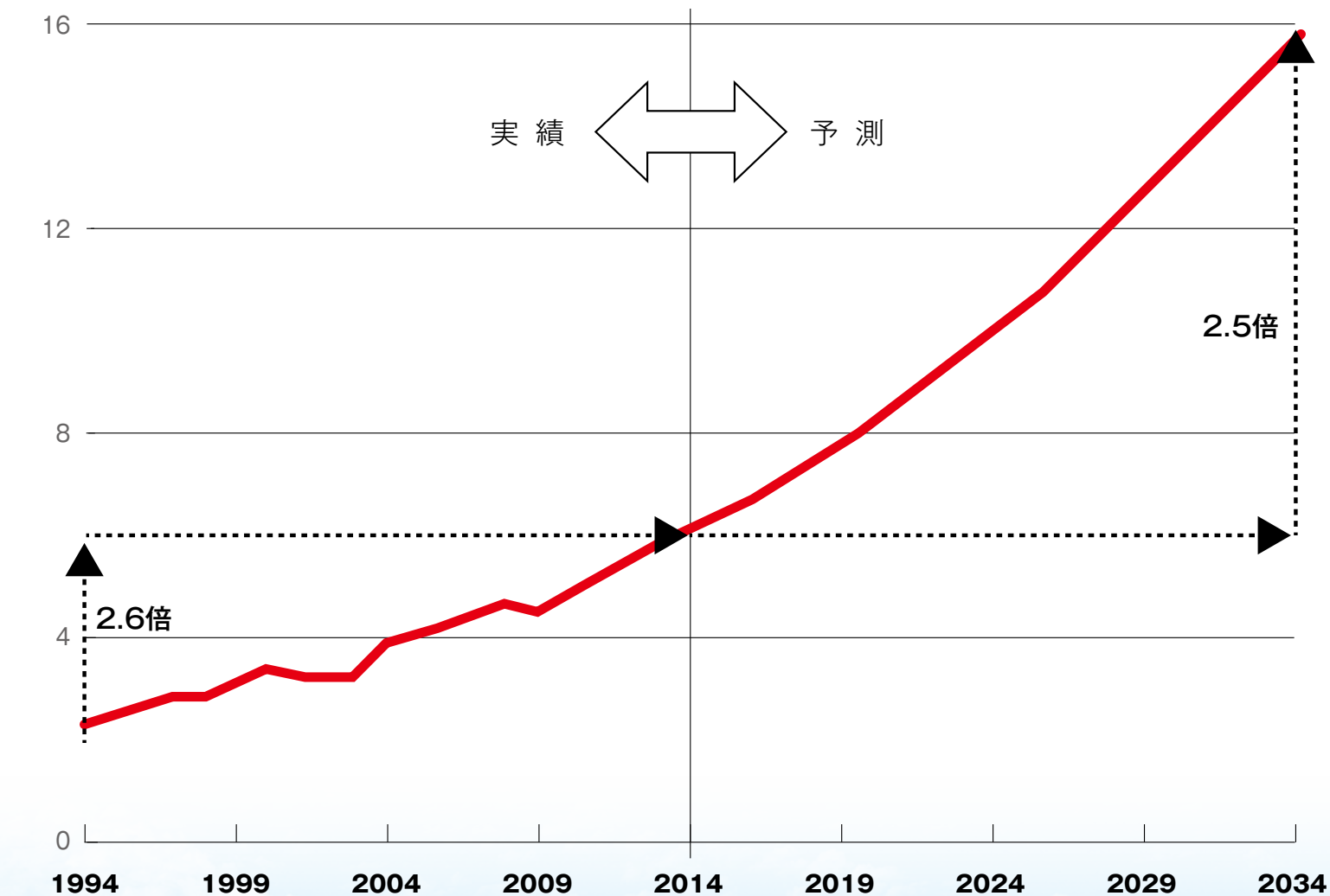
出所：Speed News Home Page「COMMERCIAL AIRCRAFT PROGRAM STATUS REPORT:DECEMBER 31,2014」

- **当社の戦略:**
 ワイドボディー市場でギャレー、ラバトリー、シート、機体構造品で重要な位置を占める



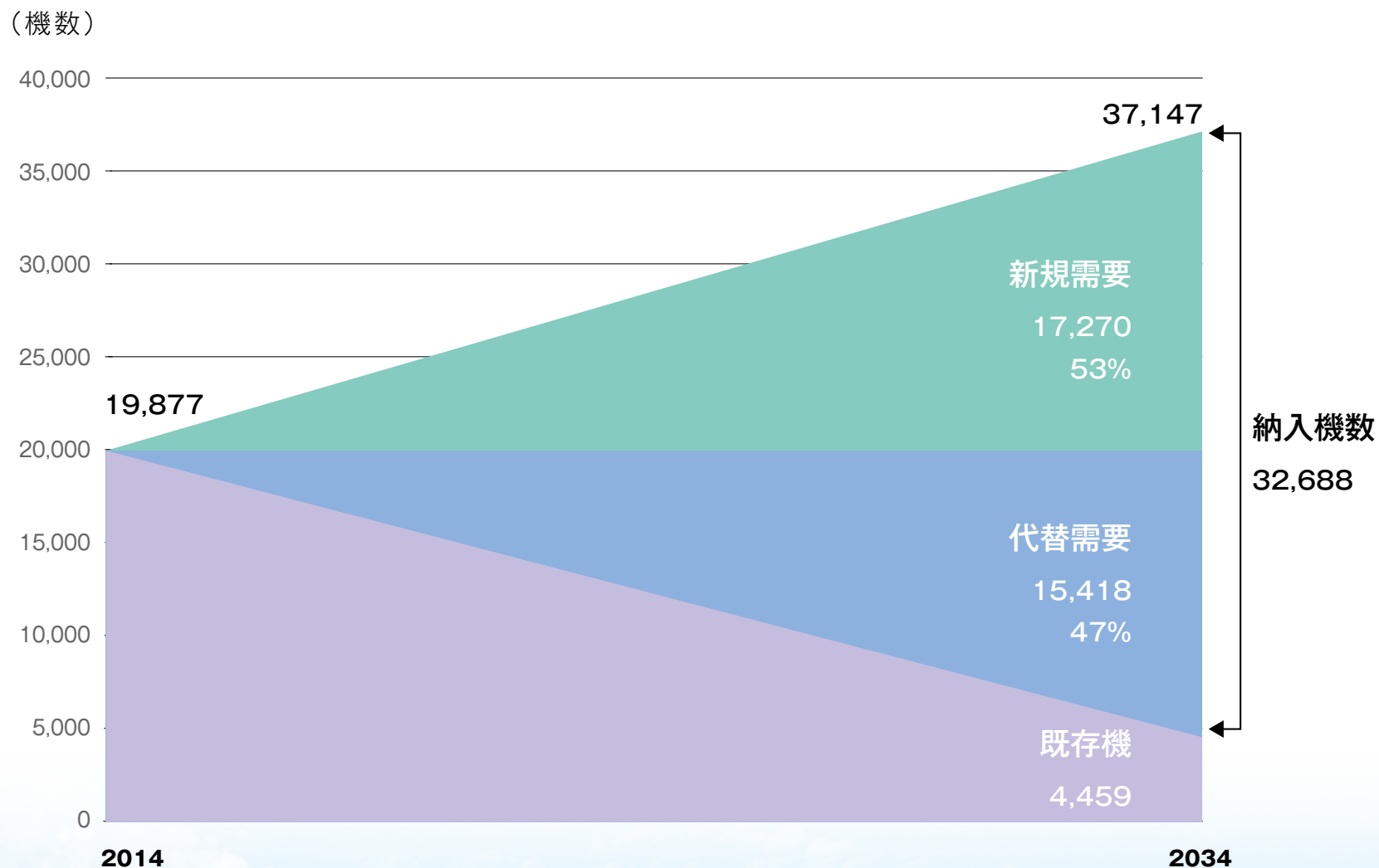
世界の航空旅客予測

航空旅客輸送量
(兆人キロメートル)



出所: (財)日本航空機開発協会「平成26年度民間輸送機に関する調査研究」

ジェット旅客機の需要予測結果



出所: (財)日本航空機開発協会「平成26年度民間輸送機に関する調査研究」



技術を翼に世界の空へ



Always Fly Together